

平成21年度 中学校「理科」実験・観察研修 実施要項

1 目 的 初任者研修を終えて間もない教員を対象に、観察や実験を中心とした理科授業力の向上を図る。

2 対 象 者 教職年数2年目と3年目の教員（各市町村1名ずつ）

募集人数 40名

3 研修内容等

回	日 時	研 修 内 容	講 師 等
1 ・ 2	8月19日(水) 9:30～12:30	理科第1分野（物理領域） 第3学年で扱う「エネルギー」に関して、その変換を調べる実験器具の製作と実習を行う。併せて、エネルギーと環境についても講義を行う。〔講義・実習〕	大阪府教育センター職員
	8月19日(水) 14:00～17:00	理科第1分野（化学領域） 第3学年で扱う「水溶液とイオン」及び「酸・アルカリとイオン」に関して、水の電気分解や中和反応に関する実験並びに電池づくり等の実習を行い、これらの化学反応を考えるイオンモデルに関する講義を行う。〔講義・実習〕	
3 ・ 4	8月20日(木) 9:30～12:30	理科第2分野（生物領域） 第1学年で扱う「種子をつくらない植物のなかま」に関して、観察を通してシダ・コケ植物の特徴を理解し、種子植物と比較することにより植物の多様性に関する理解を深める。さらに、前葉体や胞子の顕微鏡観察実習に加えデジタルカメラによる顕微鏡写真撮影の実習を行う。〔講義・実習〕	大阪教育大学 教育講座 天文学研究室 講師 松本桂 大阪府教育センター職員
	8月20日(木) 14:00～17:00	理科第2分野（地学領域） 第3学年で扱う「月の運動と見え方」及び「惑星と恒星」に関して、天体観測の方法や教材作成について理解を深める。さらに、コンピュータシミュレーションやインターネット情報の活用に関する講義を行う。〔講義・実習〕	
5 ・ 6	8月21日(金) 9:30～12:30 8月21日(金) 14:00～17:00	探究学習を実現するためのエッセンス 新学習指導要領では、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てることが目的の一つに掲げられている。探究学習では、仮説に至る試行錯誤や見通し、興味・関心の発生などを企図した学習者の主体的な学びのための授業デザインが必要である。仮説に至る自由試行を有効に機能させる具体的な方法について、いくつかの探究プロセスを体験やビデオによる授業観察等を通じて実践的・理論的に習得する。〔講義・実習〕	京都教育大学 理科教育研究室 教授 村上 忠幸

※留意点

・3日間必ず受講してください。

4 会 場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 担 当 室 理科第二室

6 そ の 他 (1) マイカーで来所しないこと。
(2) 受付は30分前から。
(3) 印鑑を持参すること。
(4) 理数系教員指導力向上研修として、(独)科学技術振興機構(JST)の支援のもとに教育センターが実施する。交通費はJSTから支給される。

個別